

駐車場作図システム

Operation Guidance 操作ガイダンス





本書のご使用にあたって

本操作ガイダンスは、主に初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

ご利用にあたって

ご使用製品のバージョンは、製品「ヘルプ」のバージョン情報よりご確認下さい。 本書は、表紙に掲載のバージョンにより、ご説明しています。 最新バージョンでない場合もございます。ご了承下さい。

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご了承下さい。 製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

©2021 FORUM8 Co., Ltd. All rights reserved.

目次

- 第1章 製品概要 4 4 1 プログラム概要 2 フローチャート 5 第2章 操作ガイダンス 6 1 モデル概要 6 7 2 駐車区画作図 7 2-1 起動 7 2-2 新規図面の設定 7 2-3 外周 9 2--4 除外領域 10 2-5 出入り口 11 2-6 通路 3 駐車マス配置 12 12 3-1 配置(一括配置) 13 3-2 編集
- 15 3-3 配置(個別配置)
- 16 3-4 配置(障害者用マスの配置)
- 17 4 路上標識配置
- 17 5 数量表配置
- 17 6 図面出力機能
- 18 7 エクスポート

第1章 製品概要

1 プログラム概要

本製品は標準駐車場条例、道路構造令に示された駐車場規格に基づいた駐車場設計を支援(平面図作図)するCADシステムです。

本システムにより駐車場の駐車マス配置検討が容易に行えます。また、作成した駐車場図面は「車両軌跡作図システム」に 連携して車両の駐車マスへの出入りをシミュレーションすることができます。

適用基準/参考文献

- ·標準駐車場条例
- ・道路構造令

機能

- ·駐車区画作図機能
- ・駐車マス配置機能
- 路上標識配置機能
- ・数量表配置機能
- ・エクスポート機能
- 「車両軌跡作図システム」に連携して車両の駐車マスへの出入りをシミュレーションすることができます。
- ・図面出力機能

2 フローチャート



第2章 操作ガイダンス

1 モデル概要

使用サンプルデータ・・・OpenLot_Sample







操作ガイダンスムービー

Youtubeへ操作手順を掲載しております。 駐車場作図システム 操作ガイダンスムービー(09:16)



2 駐車区画作図

2-1 起動

プログラムを起動し、新規図面作成を選択し、確定ボタンをクリックしてください。 ここでは「OpenLot_Sample」を作成することを目的とし、説明を進めます。

| 0 |
|------------|
| ₩₩₩₩₩5:294 |
| |
| |

2-2 新規図面の設定

図面設定画面が表示されます。

| 駐車場基準 | 下図の読込み有無 |
|---------------------|---------------------|
| ○ 標準駐車場条例 ☞ 道路構造令 | ☞ 下図を読込まない ○ 下図を読込む |
| 図面サイズ | 縮尺 |
| サイズ: [JIS(=ISO)A1 | 1/100.0 |
| 図面が : 841.0 mm | 図面の向き |
| 図面あ: 594.0 mm | C 縦 C 株 |

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

縮尺 <1/100 → 1/200>

確定ボタンをクリックします。

2-3 外周



以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

ステータスバー - <実す → 用紙> <座標系の表示「絶対」となっていることを確認します。 >



外周寸法図の通り、左下隅の座標を基点に作図します。

外周

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<ツールバーの新規作成を選択します。>



始点を指定します。 ステータスバーに「80,20」と入力し、Enterキーを押してください。



<座標系を相対座標に切り替え> ステータスバーの数値入力ボックスで外周の各頂点への変位 量を入力します。

通過点座標数値

| | | X,Y | | |
|-----|----------|-----|------------|--|
| (1) | 680 , 0 | (6) | -360, 0 | |
| (2) | 0, 340 | (7) | -100, -100 | |
| (3) | -160, 0 | (8) | 0, -120 | |
| (4) | 0 , 120 | (9) | -160, 0 | |
| (5) | 100, 100 | | | |



2-4 除外領域



数値ボックスに何も入力されていない状態でEnterキーを押します。

除外領域

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<作図補助ツールバーのグリッド補正をONにする> <作図コマンドツリーの除外領域、ツールバーの新規作成を選 択します。> <座標系を絶対に切り替え>

除外領域の頂点となる位置を入力していきます。 今回入力する頂点座標はグリッド補正ツールを利用することで 正確な座標入力が可能となります。

頂点座標 <340,280> <500,280> <500,100> <340,100>



頂点の指定がすべて終了したら、右クリックもしくはEnterキー で確定します。

2-5 出入り口



出入り口

除外領域の作図と同様の手順で、出入り口の作図を行いま す。 作図する出入り口の頂点座標は左図の通りとします。



以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<図コマンドツリーの出入り口、作図補助ツールバーのグリッド補正をONにする> <ツールバーの新規作成を選択します。>

出入り口の頂点となる位置を入力していきます。

頂点座標

| | | X,Y | | |
|-----|---------|-----|---------|--|
| (1) | 60,240 | (5) | 740,240 | |
| (2) | 100,240 | (6) | 780,240 | |
| (3) | 100,140 | (7) | 780,140 | |
| (4) | 60,140 | (8) | 740,140 | |

頂点の指定が全て終了したら、右クリックもしくはEnterキーで 確定します。



2-6 通路



通路

除外領域の作図、出入り口の作図と同様の手順で、通路の作 図を行います。 作図する通路の頂点座標は下図の通りとします。



<図コマンドツリーの通路、作図補助ツールバーのグリッド補正をONにする> <ツールバーの新規作成を選択します。>

通路の頂点となる位置を入力していきます。

頂点座標 <100, 220> <740, 220> <740, 160> <100, 160>

頂点の指定が全て終了したら、右クリック もしくはEnterキーで確定します。

※図面背景色はメニューバーの「基準値-線属性」で駐車マス 基準線の色を白に設定することで変更が可能です。



3 駐車マス配置

3-1 配置(一括配置)



配置(一括配置)

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<作図する駐車マスは「一般用」を選択します。> <タイプ名は「小型 (90° /後退駐車)」を選択します。> (一覧ボタンを押すと、詳細な寸法を確認しながら選択できま す)

<車止めは「作図する」を選択します。> <出入方向は右端の「両側」を選択します。> <配置方法は右から2番目の「インターロック型」を選択しま す。 >

<作図エリアの(X=240, Y=240)付近を左クリックします。 >



駐車マスの配置が仮に表示されますので、作図画面中でマウス を動かすことにより駐車マス列の角度を変えて配置状況を確 認します。



Shiftキーを押しながら、マウスポインタを右方向に移動させる と左図のような配置になりますので、マウス左クリックで確定 します。

3-2 編集



編集

作図コマンドツリーの編集、ツールバーの削除から、不要な駐 車マスを削除します。 ツールバーの削除を選択します。



削除する駐車マス列をマウス左クリックで選択します。 マウス右クリックで確定します。



外周が凸形状となる付近では出入りできない配置となるため、 作図コマンドツリーの編集、ツールバーの両端移動から駐車マ ス列の長さを変更します。



駐車マス列をマウス左クリックで選択状態にして、外周線上の 右上隅のハンドルをクリックします。 (マウスホイールなどで拡大すると操作しやすくなります)



マウスを左下方向にドラッグして、適当な長さまで縮めたところでマウス左クリックして確定します。 (拡大表示していた場合は、Shit+Homeキーなどで表示を元に戻します)

3-3 配置(個別配置)



配置(個別配置)

個別に作図する駐車マス列の始終端座標は左図の通り とします。



下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<作図コマンドツリーの個別配置を選択します。> <出入方向は右端の「両側」を選択します。> <配置方法は右から2番目の「インターロック型」を選択しま す。> <始点座標に (X=360, Y=460)を指定します。> <終点座標に (X=360, Y=340)を指定します。> <始点座標に (X=480, Y=460)を指定します。>

<終点座標に (X=480, Y=340)を指定します。>



45°の角度の駐車マス列を作図するため、パラメータのタイプ 名を「小型(45°/前進駐車)」に変更します。

| 巻 駐車場作回システム Ver.1.01.01 - [<新用 ファイル(F) 基準値(B) ヘルプ(H) | ファイル>] | - 1 |
|---|----------------------|-----|
| ₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽ | | |
| ● ■ | | |
| ○一般用 ○陸青常用 | | |
| タイジ名 (小型(45° 7前)) 東一覧 車点の の作用する C 作回しない 出入方向 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | | |
| | | |
| 用紙 絶时(X,Y) □ ☆ (X:247 | 7311, Y : 532.3520) | |

下の項目について数値(選択肢)を変更します。

| <始点座標に(X | =360, Y=460) | を指定します。 | > |
|----------|--------------|---------|---|
| <終点座標に(X | =420, Y=520) | を指定します。 | > |
| <始点座標に(X | =480, Y=460) | を指定します。 | > |
| <終点座標に(X | =540, Y=520) | を指定します。 | > |

3-4 配置(障害者用マスの配置)



作図コマンドツリーの編集、ツールバーの置換を選択します。

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<パラメータの「障害者用」を選択します。> <置き換えたい駐車マスを、マウス左クリックで選択します。 (置換は1台ずつとなります)>



置換前の寸法よりも大きくなる場合、列内の駐車マスが自動で 削除され、作図範囲を超えないように調整します。

4 路上標識配置



作図された駐車場区画内に駐車マスを一括配置した際に「車路」を自動生成します。その車路場に車両の進行方向を作図することができます

<作図コマンドツリーの進行方向、ツールバーの新規作成を選 択します。> <作図エリア上でマウス左クリックします。>

5 数量表配置



6 図面出力機能

作図した図面は、以下のファイル形式で出力可能です。

・UC-Draw (弊社2次元汎用CAD) 形式

- ・SXF (図面データ交換、電子納品) 形式
- ・AutoCAD形式
- ・JW-CAD形式

以下の項目について数値(選択肢)を変更します。

<作図コマンドツリーの駐車マス、ツールバーの新規作成を選 択します。>

<作図エリアの任意の位置でマウス左クリックします。> <数量表を配置したい場所で再度マウス左クリックします。>

7 エクスポート

作成した駐車場図面はフォーラムエイト別プログラムの「車両軌跡作図システム」に連携して車両の駐車マスへの出入りをシ ミュレーションすることができます。



 SXF出力

 出力ファイル

 出力フォルダ: C:¥..¥FORM 8¥ParkingLotDraw¥SampleData¥
 実更

 ファイル名: 新規作成.SFC
 参照

 出力形式

 (* SFCファイル形式
 C P21ファイル形式

 (*) したっていた式

 (*) したっていた式

 (*) したっていた式

 (*) したっていた式

 (*) したっていた式

 (*) したっていた式

 (*) したっていた式



作図コマンドツリーの車両軌跡作図システム、ツールバーの 保存を選択します。

出力フォルダ、ファイル名を任意で指定し確定ボタンをクリックします。

(※車両軌跡作図システム)

駐車場作図システム 操作ガイダンス

2024年 9月 第3版

発行元 株式会社フォーラムエイト 〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F TEL 03-6894-1888

禁複製

お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、弊社、「サポート窓口」へ お問い合わせ下さい。 なお、ホームページでは、Q&Aを掲載しております。こちらもご利用下さい。 https://www.forum8.co.jp/faq/qa-index.htm



駐車場作図システム 操作ガイダンス

